

日本医療大学
太田 誠 学長

2022年日本医療大学 年報 自己点検評価結果について

自己点検評価委員会 向井康詞

日本医療大学（以下「本学」）では、毎年、大学の運営状況を情報公開するために年報を作成しています。この年報を元に運営状況と年報の内容について、内部質保証として自己点検・評価委員会で表記内容と大学の運営状況について確認を行いましたので報告いたします。

本学においては、令和元年度に大学機関別認証評価として公益財団法人日本高等教育評価機構の外部評価を受け、概ね良好な評価を得ることが出来ております。今回は、令和8年度に受審となります。

第6号、第7号より年報の作成時期が早くなり、自己点検作業がスムーズに運ぶようになりましたが、第8号の年報作成には時間を要しました。その原因として、2022年度より総合福祉学部が開設され、2学部体制となったことで、年報記載方法等に審議を要したことが挙げられます。

今回の点検結果を報告させていただきます。概ね基準を満たす内容であったと思われませんが、いくつかの記載で不備や大学運営として検討が必要ではないかと思われる点がございました。以下に記載させていただきますので、IR室および運営委員会にてご検討いただけると幸いです。

検討が必要ではないかと思われた項目（評価点数2以下）

1. 大学の使命・目的に関して

昨年度指摘された点の改善点が記載されていないこと、新学部、新学科の説明がされていると良いという指摘がありました。また教育目的の見直しがいつ行われ、その見直しが3つのポリシーにどのように反映されているのかの記載があると良いという指摘や、研究組織としての整備についての記載も必要との指摘も受けております。

2. 教育課程に関して

3つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立がされておらず、記載がないとの指摘を受けております。シラバス整備は毎年のように行っておりますので、記載の不備と思われれます。

3. 教員・職員に関して

教学マネジメントに関して、記載されているが内容が不明瞭であるとの指摘を受けております。

4. 経営管理と財務に関して

昨年度から継続して組織図がないとの指摘があり、次年度へ向けて改善されれば幸いです。理事会の議事録の所在、管理についての記載が無いことが指摘されています。

5. 内部質保障に関して

内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体の PDCA サイクルの仕組みの確立とその機能性で低い評価を受けております。IR 室の活動について記載が無く、自己点検のみならず、データに基づいた対策の必要性が指摘されています。またエビデンスの不足も指摘されており、今後認証評価を受けるにあたっての懸念事項と考えられます。また評価後に学内で共有している状況とは考えられないとの指摘もあり、IR 室による分析、改善方針の検討が必要と考えます。

6. 独自の基準に関して

認知症研究所に対する使命、目的が不透明との指摘を受けております。構成員、活動内容の開示が求められます。

その他としてさらに明確な年報を作成していくために評価表の備考に詳細を記載させていただきます。ご確認とともにご検討いただくと幸いです。

以上